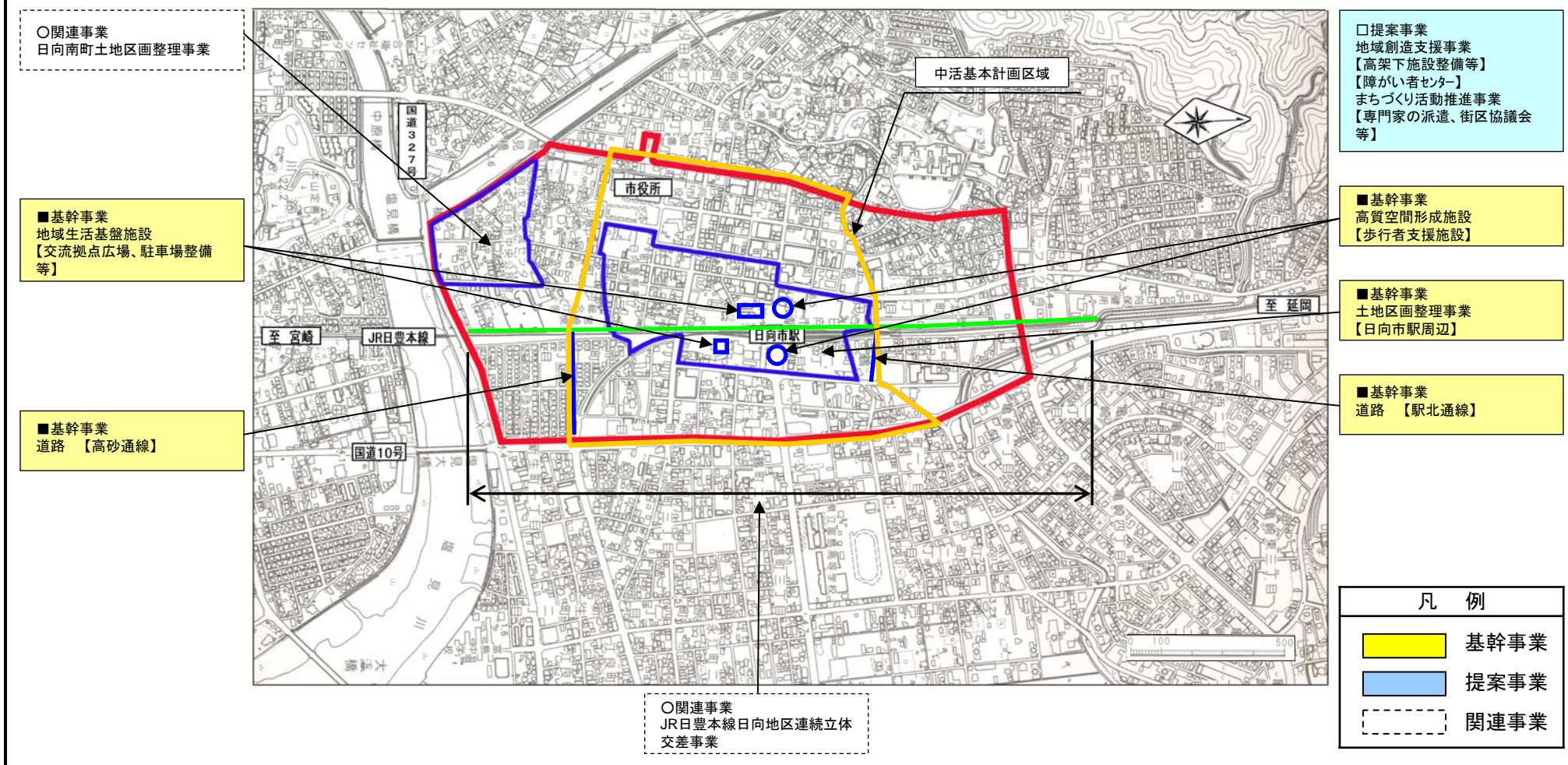


## 日向市駅周辺地区(宮崎県日向市) 整備方針概要図

|    |                                      |        |                 |                |   |                |
|----|--------------------------------------|--------|-----------------|----------------|---|----------------|
| 目標 | 中心市街地の活性化とまちを舞台とした「ふれあいと賑わいの交流拠点」の形成 | 代表的な指標 | イベント参加意欲率 ( % ) | 76 ( 17年度 )    | → | 85 ( 22年度 )    |
|    |                                      |        | 従業者数 ( 人 )      | 308 ( 16年度 )   | → | 340 ( 22年度 )   |
|    |                                      |        | 地区内居住人口 ( 人 )   | 2,843 ( 17年度 ) | → | 3,120 ( 22年度 ) |





## 都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針  | 方針に合致する主要な事業   |
|--|--|
| <p>整備方針1(一体的な土地利用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道の高架に係る新駅舎及び高架施設の供用開始に伴い、駅周辺の中核的ゾーンにおける東西方向の歩行者動線を確保するため、駅周辺の都市計画道路とのアクセス性を配慮しながら、駅舎内の歩行者優先道路や区画街路の整備を行い、地区内の回遊性を高める。</li> </ul>   | <p>日豊本線日向地区連続立体交差事業(関連事業)<br/>土地区画整理事業(基幹事業)<br/>高質空間形成施設(歩行者支援施設:基幹事業)<br/>道路事業(街路:基幹事業)</p>  |
| <p>整備方針2(魅力的な都市空間の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場、交流拠点広場、観光振興施設及びイベントステージなどの集客施設の整備を進め、街なかの溜まり空間を確保しつつ、既存の商業施設との連携を図り、賑わい創出のための施設空間の整備を図る。</li> <li>・来街者が商店街を回遊し、楽しみながら情報を共有できるよう施設間通路の利便性の充実を図る。</li> <li>・駅周辺においては四季折々の草花で憩いと潤いのある空間を形成する。</li> <li>・安心して生活を送ることができる良好な地域コミュニティの形成を図る。</li> <li>・防災対策に資する効果的な整備行い、防災機能の向上を図る。</li> </ul>  | <p>土地区画整理事業(基幹事業)<br/>地域生活基盤施設(交流拠点広場、コミュニティ広場整備:基幹事業)<br/>まちづくり活動推進事業(専門家派遣:提案事業)<br/>地域創造支援事業(障がい者センター:提案事業)<br/>地域生活基盤施設(地域防災施設:基幹事業)</p> |
| <p>整備方針3(人口定住の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤整備による生活水準及び付加価値の向上を図る。また、経済産業省所管事業「中小企業高度化資金」の活用を積極的に推進し、商業機能と居住機能を兼ねた併用住宅建築による安定した人口増加を図る。</li> </ul>   | <p>中心市街地商業集積整備事業(関連事業)<br/>土地区画整理事業(基幹事業)<br/>まちづくり活動推進事業(専門家派遣:提案事業)</p>  |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公民協働のまちづくり(まちづくり推進活動事業)</li> <li>・本地区は土地区画整理事業を基盤とした連続立体交差事業及び商業集積事業の3事業を同時に展開しており、平成8年度より地元商店者、商工会議所及び行政で役割分担を明確にした上で、まちづくりの意識の熟成に努めてきた。また、各種の委員会、協議会等によって得た情報については、地区内の総合会議により情報の共有化を図ってきた。</li> <li>・特に、街区協議会においては中心市街地の空洞化、来街者及び通行量の減少を踏まえ、まちの賑わいの回復や効率的な商業集積の手法を個店単位ではなく、数店による統一課題と位置付け、検討・協議を重ねてきた。</li> <li>・本市を含む1市2町2村の玄関口であり交通結節点である日向市駅・駅前広場の整備については、市民参画による公民協働の方針のもと「日向市駅周辺地区駅前広場整備検討委員会」を設置し、広域圏における「まちの顔」づくりを図っている。また、連続立体交差事業による新駅舎のデザイン及び駅周辺地区の景観づくりについては、篠原修氏(政策研究大学院大学)を委員長に学識経験者で構成する「日向地区デザイン会議」により、駅を中心とした調和のとれた街なみ景観の創出に努めている。</li> <li>○防災活動拠点の整備(地域防災施設)</li> <li>・道路、公園等のオープンスペースは、延焼拡大の遮断帯となるばかりではなく、避難、緊急輸送等の応急活動、物資集積等の基地として重要な防災施設であることから積極的な整備に努めている。</li> </ul> |  |

